

# 大雨死者10人に



発行所 秋田魁新報社  
〒010-8601  
秋田市山王臨海町1番1号  
©秋田魁新報社 2018年



土砂が流入した家屋＝7日午前9時11分、広島県坂町（共同通信社ヘリから）

# 西日本、安否不明50人超

# 号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

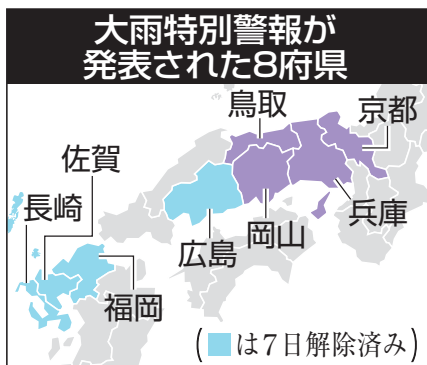
www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。



西日本を中心に7日も記録的大雨が続き、土砂崩れや水害から人や車の救助を求める通報が相次いだ。5日以降、共同通信のまとめでは大阪府、滋賀、兵庫、広島、愛媛各県で計10人が死亡、京都府と岡山県で2人が心肺停止状態で見つかった。安否不明者は広島や

岡山、高知、福岡各県などで50人以上に達し、さらに増える可能性がある。前線の活動は活発なままで、気象庁は災害に最大級の警戒を呼び掛けた。

菅義偉官房長官は7日午前、大雨被害を受けて緊急記者会見し「土砂崩れなど救助が必要な事案を100件以上把握し、警察、消防、自衛隊が約4万8千人態勢で捜索救助活動を行っている」と述べた。

広島県では、三原、東広島、福山、府中各市で新たに各1人の死亡を確認、県内の死者は計5人となった。安否不明者は計15人になっている。